

いまでもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司
メールアドレス：info@ogiharakenji.com
連絡先：042-705-5119 (ファックスも同じ)

おぎはら健司の市政レポート

新消防庁舎建設費用を承認

平成28年第三回定例会では、初日に「専決処分」の承認についての採決が行われましたが、今回、議題となった専決処分の内容は、平成29年度内の完成を目指す新消防庁舎の契約（建設・電気工事・機械の3件）に関するものでした。

合計で16億9,300万円余と、金額規模が大きいという点がこれまでの専決処分とは異なる点でしたが（通常は1億円未満）、本市の防災の要となるインフラという観点から、賛成をし、会派を代表して討論を行いました。

討論内容は、本来災害対策本部が設置されるべく市庁舎が壊滅的な被害を受けた平成28年熊本地震における宇土市役所を例に挙げ行いました。これは、耐震性が不足しているといわれていたにも関わらず、市庁舎新設は財政難を理由に建て替えが先送りされていた矢先の被災と報じられています。

座間市周辺では、茅ヶ崎市に於いて「巨額の市庁舎建て替えは税金の無駄遣い！」との指摘もある中、英断をもって建て替えを推進したという事例もありますが、本市に於いても専決処分を行わず、2~3ヶ月後の今定例会の議決を待って予算執行をしたとし、その分完成が遅れることで、万が一その間に大地震に見舞われたとしたら責任問題だけでは済まない被害が生じる可能性があったことから、専決処分という手法での当局の迅速な対応は、評価に値するという見解を述べさせて頂きました。

また、本来の予定では5月11日に入札公告をし、6月6日に開札予定であったものが、予想以上の低価格での入札のため、座間市入札契約制度検討委員会を設置したうえで

の調査が余儀なくされ、結果として前定例会に間に合わないという事態が生じたことされており、さらに、低価格での入札になった原因を徹底調査した結果、企業の法定福利面（賃金や下請け代金など）でも、資材の調達や品質の上でも『問題なし』という結論に至ったとの事でありました。

新消防庁舎には、災害対策本部が設置される予定の市庁舎に万が一の事があった際をも想定し、臨時的な災害対策本部たる「消防災害作戦室」を設置できるスペースも用意されるとの事であり、昭和45年に建設され老朽化が懸念されていた災害対応拠点となる消防本部の強化とあわせ、隣地に開院した座間総合病院との連携による救急医療体制も強化される事が期待されます。

中学校給食の今後

栗原中学校と東中学校で中学校給食が試験的に導入されてから一年が経過しました。

平成21年5月に設置された「中学校給食あり方検討懇話会」により議論がスタートし、平成23年度末には「選択式デリバリー方式」による実施が決定し、開始された本事業ですが、中学校給食については、要望が多い一方で、完全給食については異論を唱える、いわゆる「愛情弁当」にこだわる保護者も少なくない中、両者の意見を尊重し今回の方式が採用されましたが、この間の市当局の尽力により、相模中を含む残りの4校でも、配膳のためのスペースや動線確保のための改修工事の予算のメドがつけば早ければ来年9月からの導入に向け、最終調整に入っているとの事です。

課題も多い本事業ですが、詳細について今後お伝えしてまいります。